

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 県立老人福祉施設設備等整備費（UD化事業対応分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 高齢福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111（内3473）

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 65,985 千円（前年度予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	65,985	0	0	0	0	0	0	59,100	6,885
決定額	58,259	0	0	0	0	0	0	52,200	6,059

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

県立寿楽苑及び飛騨寿楽苑における利用者の安全と利便性向上を図るため、ユニバーサルデザイン化に向けた営繕工事を実施する。

※管財課枠予算として集約して計上予定

（2）事業内容

- ・トイレの床をタイル（湿式）から乾式にすることで、利用者の転倒事故を防止する。また和式トイレを洋式化することにより利用者の利便性を向上させるとともに、老朽化している洋式トイレ、小便器及び洗面器等について全面改修を行う。
- ・ショートステイの利用者は高齢化により自宅での入浴が困難であるが、平成12年から設置されている、浴槽が深く安全に利用できない一般浴槽を利用している。そのため、高齢者が安全に入浴でき、さらに車椅子の方も利用できる浴室に改修する。

①寿楽苑各所トイレ改修工事（R6：R7＝70：30）

58,259千円

②飛騨寿楽苑ショートステイ浴室改修工事

7,726千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県補助率 10 / 10 (予定施設は全て県立施設であるため、県負担は妥当)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	181	改修工事現場へ出張旅費
使用料	23	出張に係る高速代
需用費	50	消耗品費 26千円、燃料費 24千円
役務費	5	郵送費・通信費
委託料	1,470	工事監理委託料
工事請負費	64,256	各所トイレ改修工事・ショートステイ浴室改修工事
合計	65,985	

決定額の考え方

飛騨寿楽苑ショートステイ浴室改修工事については、管財課に予算を集約して対応します

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県立高齢者福祉施設における利用者の安全と利便性向上を図るため、ユニバーサルデザイン化に向けた営繕工事を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H31)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	終期目標 (R6)	達成率
① 実施が必要なUD工 事の年度実施件数	0	0	0	0		

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	
令和 4 年度	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	施設利用者の安心・安全な生活環境を確保するため、営繕工事の実施が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	これまでのユニバーサルデザイン化対応営繕工事により、施設利用者の安全・安心な生活環境の実現が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	営繕工事の実施検討にあたっては、庁内関係課と現地調査を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ユニバーサルデザイン化対応が完了していない施設について対応営繕工事が必要となる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要なユニバーサルデザイン化対応営繕工事について、計画的な実施を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	